

図書館だより



2020年9月発行 No.4
伊丹市立笹原中学校
学校司書 草苅

今までにない、短い夏休みが終わりました。9月もコロナウィルス対策をとりながらの開館になります。手洗い・マスクの着用をお願いします。返却本は入り口横のカートか返却BOXに返却し、貸し出しのみをおこないます。

9月 開館日

	月	火	水	木	金
お昼休み／放課後		1 ○/×	2 ○/×	3 ○/×	4 ○/×
お昼休み／放課後	7 ○/×	8 ○/×	9 ○/○	10 ○/×	11 ○/×
お昼休み／放課後	14 ○/×	15 ○/×	16 ○/○	17 ○/×	18 ○/×
お昼休み／放課後	21 ○/×	22 ○/×	23 ○/○	24 ○/×	25 ○/×
お昼休み／放課後	28 ○/×	29 ○/×	30 ○/○		

「①オしたちパズル入行組」「②オしたち花のパズル組」 放送中「③ロスジェネの逆襲」 池井戸潤／著 [913 イ]

ときは2004年。銀行の系列子会社東京セントラル証券の業績は鳴かず飛ばず。そこにIT企業の雄、電機雑伎集団社長から、ライバルの東京スパイラルを買収したいと相談を受ける。アドバイザーの座に就けば、巨額の手数料が転がり込んでくるビッグチャンスだ。ところが、そこに親会社である東京中央銀行から理不尽な横槍が入る。責任を問われて窮地に陥った主人公の半沢直樹は、部下の森山雅弘とともに、周囲をアツといわせる秘策に出た。



アニメ放送中 映画9月公開「はたらく細胞 01~05」 清水茜／著

[726 シ] マンガ 貸出できません

人間1人あたりの細胞の数、およそ60兆個！そこには細胞の数だけ仕事(ドラマ)がある！ウイルスや細菌が体内に侵入した時、アレルギー反応が起こった時、ケガをした時などなど、白血球と赤血球を中心とした体内細胞の知らぬ活躍を描いた「細胞擬人化漫画」の話題作、ついに登場！！肺炎球菌！スギ花粉症！インフルエンザ！すり傷！次々とこの世界(体)を襲う脅威。その時、体の中ではどんな攻防が繰り広げられているのか！？白血球、赤血球、血小板、B細胞、T細胞…etc. 彼らは働く、24時間365日休みなく！



8月公開「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂 ①~⑫」 廣嶋玲子／作 [913 ヒ]

駄菓子屋があった。路地の壁にはりつくような形の店で、まるで商店街から身をかくしているようだ真由美は首をかしげた。あんなところに、駄菓子屋さんなんてあったっけ？この道は、もう何百回と通っているけど、あんな店、見たことない…。その駄菓子屋は幸せと不幸のわかれ道。

9月公開「鹿の王 ①~④」「鹿の王水底の橋」 上橋菜穂子／著 [913 ウ]

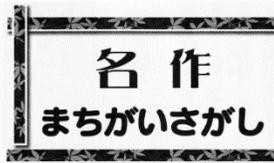
強大な帝国・東乎瑠から故郷を守るため、死兵の役目を引き受けた戦士団“独角”。妻と子を病で失い絶望の底にあったヴァンはその頭として戦うが、奴隷に落とされ岩塩鉱に囚われていた。ある夜、不気味な犬の群れが岩塩鉱を襲い、謎の病が発生。生き延びたヴァンは、同じく病から逃れた幼子にユナと名前を付けて育てるが！？たったふたりだけ生き残った父と子が、未曾有の危機に立ち向かう。壮大な冒険が、いまはじまるー！



「二年間の休暇 上・下」 J.ベル又／作 [933 ベ]

本書は、『十五少年漂流記』の名で親しまれてきた作品の初の完訳本。夏の休暇を、スクーターでニュージーランドの海岸を一周して過ごすことになっていた十五人の少年たちが、思いがけない事故のため、無人島に漂着する。ときに反目しながらも、さまざまな困難を乗り越え、彼らは島での生活を築きあげていく。

答えは図書室に
掲示しています。



漂着した少年たちは、さっそく沿岸の探検に乗り出します。人は住んでいるのか、ここは島なのか大陸なのか、隠れがになる洞窟などはあるのか。年長組の心配をよそに、幼い子どもたちは無邪気に海辺で遊んでいました。
下の2枚の絵の違いを5か所見つけてください。

